

夏の企画展

戦傷病とは？

— 第1部 戦傷 —

平成27年 7月22日(水) — 9月27日(日)

[会 場] しょうけい館1階

[開館時間] 10:00~17:30(入館は17:00まで)

[休 館 日] 毎週月曜日(祝日は開館)、9月24日(木)

入館無料



SHOKEIKAN

しょうけい館

戦傷病者史料館

Historical Museum for the Wounded and Sick Returned Soldiers

戦傷病とは？

第1部 戦傷

夏の企画展

平成27年7月22日(水) — 9月27日(日)

「戦傷病」は「軍人、軍属、準軍属の公務上の傷病」を言います。

戦後70年を経て「戦傷病」を具体的にイメージするのが難しくなっています。

本企画展では、戦傷病者の労苦を知る一助として「戦傷病」を取り上げ、今回は第1部として「戦傷」についてご紹介いたします。

一口に「戦傷」と言っても、多様な原因が有り、傷名も様々です。兵器による「銃創」「破片創」などの「射創」、「爆創」「爆風創」などの「爆傷」、その他に放射線、薬品、ガス、刃物による傷など多岐にわたります。

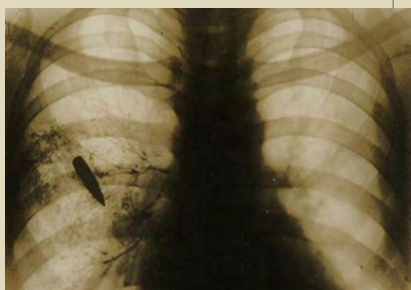
また、受傷した部位によって現出する症状も多様で、それらの合併症、外傷に起因するショック、精神障害、後遺障害、と複雑に関連しており、「戦傷は外科、戦病は内科」と簡単に分類できないのが「戦傷病」の特徴でもあります。

現在の外科ではほとんど見ることができない症例も含めた「戦傷」の数々を、貴重な資料と写真で分かりやすく解説いたします。

「戦傷」を知ること、戦傷病者の労苦を少しでも感じていただければ幸いです。



体内から摘出された弾丸



体内に残った弾丸のX線写真



病院船内での輸血



臨時東京第三陸軍病院の戦傷病者

● 展示解説

申込不要

学芸員が企画展の展示解説をします。

日時：第1・3・5週の土曜 14時より約30分程度。

当館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館しました。しょうけい館という館名は、戦傷病者とそのご家族等の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。



SHOKEIKAN
しょうけい館
戦傷病者史料館

Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 ツカキスクエア九段下
TEL 03(3234)7821 FAX 03(3234)7826 URL www.shokeikan.go.jp



- 地下鉄をご利用の場合
「九段下」駅6番出口から徒歩1分(東西線、半蔵門線、都営新宿線)
 - 都営バスをご利用の場合
「九段下」停留所から徒歩1分(高71系統(九段下～高田馬場駅))
- ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。

